

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人 北本市観光協会

事業名	きたもと森林セラピー体験・シンポジウム事業
助成事業の種類	自立促進事業
1. 事業の目的	企業の福利厚生担当者並びに人事担当者、福祉事業の関係者や障害団体の方を対象に、シンポジウムを通して森林セラピー事業の効果を多角的に伝え、体験ツアーで実際にプランニングを行うことで、企業や団体の方の利用促進を図る。
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	北本市では、市内にある豊かな自然環境の保全利活用を目的に、令和元年に森林セラピー基地の認定を取得しました。森林セラピー事業を通して、身近な自然へ触れ合う機会の創出・自然保全意識の啓発を行っています。また、自然を通じた具体的なリフレッシュ効果が、より多くの人に認知されることで、森林を守り育てる「森林保全」への取り組みへ繋がると考えています。しかし、私共では令和元年度より様々な取り組みを行っておりますが、セラピー基地認定後すぐにコロナ禍へと入ってしまったこともあり、参加者や参加団体が中々広がらずに、プロモーション面及び集客面で課題があると考えています。
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	(1) 北本森林セラピー体験ツアーの実施 県営の自然公園「北本自然観察公園」にて、森林セラピーを気軽に体験できるお試しツアーを開催しました。また、ツアー参加者には事後にアンケートを行いました。 時間：10時から12時 費用：無料 会場：北本自然観察公園 参加者：28名 (2) シンポジウムの開催 森林セラピーの拠点施設「北本自然観察公園/埼玉県自然学習センター」を会場にシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、森林サービス産業や森林保全の取り組みに造詣が深い講師に登壇頂き、地域に残る身近な自然環境の多面的な利活用方法や保全方法を、事例発表やパネルトークを通して検討を行いました。また、企業と森林保全をテーマとして、健康保険組合の担当者にも登壇頂き、事例を含めた発表をして頂きました。シンポジウムを通して、セラピー事業の効果・有用性を広くプロモーションしていき、今後の利用に繋げていきます。

『企業と地域の連携から始まる 森林セラピーの効果と可能性』

時間：13時から17時 参加者：38名 費用：無料

■プログラム

【13時30分～14時30分】

第1部 基調講演『森林セラピーの効果と社会実装の状況』

北本森林セラピー協議会副会長/国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 チーム長 高山範理氏

【14時40分～17時】

第2部 事例発表&パネルディスカッション

① 『長野県信濃町”癒しの森”の取り組みについて』

信濃町森林メディカルトレーナー/しなの町 Woods-Life Community 事務局 河西恒氏

② 『TOPPAN グループ健保の取り組みについて』

TOPPAN グループ健康保険組合 ヘルスケアチームリーダー 梅木稔氏

時期	内容
7月	
8月	
9月	・講師調整 ・企画検討
10月	・チラシなどの作成 ・ガイドツアー調整
11月	・上旬～中旬 チラシ配布等イベント告知PR ・11月30日実施
12月	・事業報告
1月	
2月	

○広報実績について

・きたもと森林セラピーWEBサイトへの掲載

<http://kitamoto-forest-therapy.com/news/3893/>

・チラシの作成配布

A4サイズ、両面、1000部、

主な配布先:北本駅や公共施設・近隣観光協会や市内外の提携店舗(メンバーストア等)

	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者や企業へDMの送付 <p>116通（北本市内企業や包括連携企業等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林セラピーソサエティからのメール案内 ・林野庁 forest スタイルネットワークからのメール案内 ・シンポジウム講師からのSNS等を通じた告知
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な広報活動を通して、企業や団体関係者に対しきたもと森林セラピー自体を広くPRすることができました。 ・ガイドツアーへの参加者は28名、シンポジウムへの参加者は38名であり、多くの方にセラピー事業を実際に体験頂くことに成功しました。 ・事業を通して、北本市の自然資源や身近な自然へ触れ合う機会の創出や自然保全意識の啓発を行い、森林を守り育てる「森林保全」への理解を促進する機会となりました。 ・事業に参加頂いた三社とは、事業後から今後の利活用を含めた話し合い（商談）を行っており、自立的な事業運営に向けた利用者の獲得に繋がっています。
5. 費用面での工夫	<p>コンパクト（低予算）で事業効果が最大限発揮されるように、事業内容を再検討した結果、私共が狙っていた効果は得られたのに対し、会場場費や広報費などを当初予算よりも圧縮することができました。</p>
6. 地域社会への還元について	<ul style="list-style-type: none"> ・セラピー事業が地域に与える効果や可能性を、シンポジウムを通して改めて勉強することができ、今後地域での事業運営を検討する為の、素晴らしい機会となりました。 ・事業を通して、セラピー利用を検討する会社が数社あり、今後の利用に繋げることで、きたもと森林セラピーの自立的な運営に繋がっていきたいと考えています。
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<p>参加企業や団体に対して営業活動を行い、実際の利用へとつなげていきます。利用増加に伴う収益は持続的な北本森林セラピー基地の運営へと活用していきます。また、収益の増加は自立的な運営だけでなく、ガイドボランティアの更なる育成や、フィールド整備など自然保全活動の実施、福祉団体などのへの無料ツアーの実施など、収益を地域や自然環境に還元する自立的な事業モデルの構築を目指していきます。</p>

事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人 北本市観光協会

1 収入の部

項 目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	237,000	237,000	0	
自己資金	300	300	0	
事業実施による収入等			0	
その他			0	
合 計	237,300	237,300	0	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	2,830	2,830	0	
通信運搬費	0	0	0	
旅費交通費		0	0	
消耗品費	0	0	0	
備品費		0	0	
委託費	48,470	48,470	0	
謝金	150,000	150,000	0	
人件費	36,000	36,000	0	
その他		0	0	
合 計	237,300	237,300	0	